

生活保護引き下げ反対

反貧困ネットワーク埼玉が声明

貧困問題にとりくむ市民団体の反貧困ネットワーク埼玉（藤田孝典代表）は3日、厚生労働省が来年度から生活保護の住宅扶助基準と冬季加算の引き下げを発表したことに、生

活保護利用者の命綱であり、強く反対するとの声明を出しました。住宅扶助基準は2017年度には今年度比で約190億円減額とされたことに対し、基準は現行でもきわめ

て低く、国の「最低居住面積水準」を満たす住宅を借りることが困難だと実証されていると指摘しています。

来年度は今年度比で30億円減額される冬季加算についても、物価高騰のもとでの引き下げなど言語道断だと述べています。